



# 子ども版「広報まいづる」舞鶴っ子 No.1

新シリーズ「舞鶴っ子」。  
知っているようで知らない舞鶴。海と山、豊かな自然、歴史、文化を持ち合わせた舞鶴を子ども達が誇りに思えるように細川幽齋公のイメージキャラクター「ゆいづる」が隔月で分かりやすく伝えます。初回は、「舞鶴市の変遷」について。

## 舞鶴の由来

舞鶴市は、むかし丹後国加佐郡、江戸時代には田辺藩と呼ばれていた。今の「舞鶴」という名は、明治時代の「版籍奉還」で、田辺藩が田辺城の別名「舞鶴城」から舞鶴藩に名前を改めたこと(1869年)による。この田辺城は、丹後国の守護大名の一色氏を滅ぼして丹後国の大名となった私が天正8年(1580年)頃に建てたんじや。その後、田辺城は、京極家、牧野家と城主が移り、明治2年(1867年)に、牧野弥茂が藩主の時の版籍奉還に

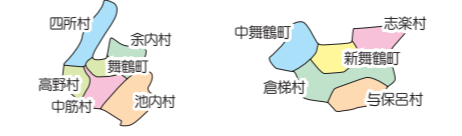


よって、藩は土地や人民を支配する「私領」ではなく、明治政府の行政組織としての藩(今でいう都道府県)になったため、新たに藩名を作らなければならなくなったわけじや。「舞鶴史話」によると、舞鶴の名付け親は藩士・河村貞六といわれている。紀伊国(和歌山県)にも田辺藩があるから改めるようにと政府から言われたため、公文書にある神社の名前の「笠水」とお城の別名の「舞鶴」の2つに絞ったんじや。しかし、牧野家が常陸国笠間(茨城県)にもあったので、「笠水」で

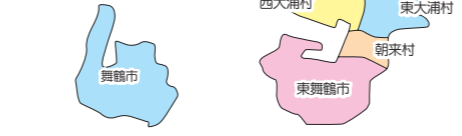
## 舞鶴市の歩み\*

旧舞鶴町制施行して舞鶴町となる(明治22年4月1日)  
倉梯村の一部と志楽村の一部とで町制施行し新舞鶴町となる(明治39年7月1日)

舞鶴町へ5か村編入(昭和11年8月1日)  
5か町村合併して東舞鶴市となる(昭和13年8月1日)



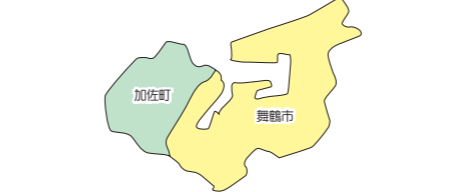
舞鶴町が市制施行して舞鶴市となる(昭和13年8月1日)  
東舞鶴市へ3か村編入(昭和17年8月1日)



舞鶴市と東舞鶴市が合併して舞鶴市となる(昭和18年5月27日)



舞鶴市へ加佐町編入(昭和32年5月27日)



\*明治22年の町村制施行時には現在の舞鶴市域は全て加佐郡に属していました。



同時に2市が誕生し、まちは喜びであふれ返ったんじや。昭和18年には、この2市が合併して舞鶴市になり、さらに昭和32年に加佐町が編入され、今の舞鶴市の形になった。当時の人口は約10万2,600人で、今の舞鶴市の人口の約8万4,000人よりも多かったとほすいもんじや。  
新舞鶴町や倉梯村、余内村、中筋村、池内村などの昔の村名は、今でも小学校の名前として残っている。  
この素晴らしいまち、舞鶴の魅力をいろんな視点で伝えていこうと思ってるから、次回からも読んでねんか。

## 簡単レシピで手軽にヘルシー まいづるレシピ帖 Vol.1

### 万願寺甘とうの肉巻き



1人分 284\* kcal 塩分 1.9g\*

舞鶴を代表する夏の味覚、万願寺甘とうを使ったスタミナ満点の肉巻きです。ご飯に良く合うタレで、ご家庭でも、お弁当にもうってつけ。ぜひ作ってみてください。【協力】 谷口久美子(食生活指導士)

- 材料** (4人分)
- ◆万願寺甘とう…12本 ◆豚バラ肉…12枚
  - ◆料理酒…大さじ2杯 ◆サニーレタス…4枚
  - ◆しょうゆ…大さじ3杯
  - ◆すりしょうが…大さじ2杯
  - ◆みりん…大さじ2杯
  - ◆はちみつ…大さじ2杯
- タレ**

### 作り方

- ①万願寺甘とうはヘタを取り、実には縦に少し切れ目を入れて肉を巻く。ポウルにタレの材料を合わせる。
- ②熱したフライパンに肉の巻き終わりが下にくるように入れ、焼き色がつくまで中火で焼き、料理酒を加えふたをして弱火で4分焼く。
- ③余分な油をふき取りタレを加えて絡める。皿にサニーレタスを敷いて盛り付ける。

### 一言メモ

万願寺甘とうは辛味成分が全くありません。種を取る必要がなく、まるごとおいしく食べられます。

## 広報クイズ



広報クイズに応募していただいた中から、舞鶴の特産品やお土産などを抽選でプレゼントします。問題の○に当てはまる文字や数字をお答えください。ヒントは紙面の中に。

- **問題1** 妊娠期から18歳までの子どもに関する相談に総合的に対応する「子どもなんでも相談窓口」が○月○日に中総合会館にオープンします。
- **問題2** 京都舞鶴港にクルーズ客船○○○・○○○○が10回入港。
- **問題3** 7月15日、○○○○がリニューアルオープンします。

● **「広報まいづる」満足度アンケート**  
 ◆「広報まいづる」について、あなたの満足度は、次の①～④のうちどれですか?  
 ①大変良い ②良い ③不満 ④大変不満  
 ◆2～3に掲載している「子どもなんでも相談窓口」について、意見や要望をお書きください。

**応募方法**  
 「はがき」か「電子メール」に①クイズの答え②「広報まいづる」満足度アンケートの該当番号③住所④氏名(ふりがな)⑤年齢⑥電話番号⑦広報紙へのご意見や取り上げてほしいテーマなどを記入し、7月25日(月)(消印有効)までに広報広聴課へ。※応募は1人1通。当選者は全問正解者の中から抽選のうえ決定。発表は発送をもって代えさせていただきます。お寄せいただいた感想、ご意見は広報紙に掲載することがあります。

◆はがき 〒625-8555(住所不要) 舞鶴市役所広報広聴課あて  
 ◆電子メール info@post.city.maizuru.kyoto.jp (標題は「広報クイズ」で)

## 今が旬! 舞鶴発祥 7月号プレゼント 万願寺甘とうを箱入りで2人に!



舞鶴が全国に誇る京のブランド野菜「万願寺甘とう」は全く辛味のない「焼いても、煮ても、揚げてよし」の三拍子そろったおいしい万能野菜です。

提供: 京都丹の国農業協同組合農産経済部 (☎0773-42-1814)